

防衛北海道

令和4年

7月発行 Vol.82



**機動する16式機動戦闘車と96式装輪装甲車
(第3即応機動連隊 名寄駐屯地)**

目次

- 北海道防衛局 幹部紹介 (4月1日) 2, 3
防衛局の業務紹介 (管理部、帯広支局)
- 新規採用者 初任者研修 4, 5
- 「絆」(きずな) 名寄市と名寄駐屯地の紹介 6, 7
- 自衛官等採用案内 8

編集・発行

防衛省北海道防衛局広報誌等編集委員会
札幌市中央区大通西12丁目札幌第3合同庁舎
Tel.011-272-7579
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



北海道防衛局 公式Twitter

@HokkaidoDB



NEW FACE

I 幹部紹介 (4月1日異動)

福田 裕之
(ふくだ ひろゆき)

4月1日付の異動で管理部長を拝命しました福田です。

北海道防衛局の勤務は初めてになります。

管理部が行う自衛隊施設の取得・管理及び在日米軍に係る補償などの業務は、関係自治体や地域住民の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。

皆様との信頼関係を築きながら、防衛施設の安定的運用ができるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

北海道
防衛局
管理部長



北海道防衛局の組織



北海道防衛局 管理部の紹介

管理部は、業務課（調達協力室を含む）、施設管理課（施設企画室を含む）、施設取得課の3課から編成されています。

管理部では、主に①米軍等による行為により損害を被られた方に対するの損害賠償、②米軍のための物品及び役務の調達、③自衛隊等の行う訓練のため、一定の区域及び期間を定めて漁船の操業を制限又は禁止することで生じる漁業経営上の損失を被られた方に対するの補償等、④自衛隊等が、演習場、駐屯地等として使用するための土地・建物等の取得や借り上げ、⑤取得した土地・建物等国有財産の管理などの業務を行っています。

米軍のための物品及び役務の調達

米軍が北海道内で訓練を実施する際、米軍からの要求に基づき、必要な物資等について、米軍に取扱い業者を紹介したり、又は局が米軍に代わり調達するなどの支援を行っています。



米軍車両用燃料の調達支援

周辺財産の有効活用の促進

千歳飛行場の周辺財産（※）を緑地帯など飛行場とそのほかの地域との緩衝地帯として整備するほか、公共用施設に限らず、土地の有効活用を図るため、個人、企業などに対しても一定の条件を満たしていれば、有償での使用を許可しています。

※ 周辺財産とは、防衛省が買い入れた、航空機の騒音が著しい基地周辺の区域のことで、

レンタカー用の車両置き場として有償使用を許可





帯広防衛支局
支局長

NEW
FACE



土門 栄文
(どもん ひでふみ)

4月1日付で帯広防衛支局長を拝命しました土門です。
 帯広支局勤務は平成7年8月以来約27年ぶりとなります。
 帯広の街並みは、見覚えのある風景も数多く残っていますが、地面と接していたプラットフォームが高架化され大きく様変わりしていた帯広駅とその周辺地域には時の流れを感じます。
 一方、27年という時を経ても変わらぬ道東地域の皆様の防衛省・自衛隊に対するご理解とご協力の大きさには感銘しており、さらに強固な信頼関係を築けるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

帯広防衛支局の紹介

帯広防衛支局は、北海道の東部に位置する十勝平野のほぼ中央の帯広市にあります。十勝平野は、豊かな自然に恵まれ、小麦や豆類などの畑作や酪農畜産等の大規模農業が展開される地域です。

帯広支局の管轄区域は、オホーツク、十勝、釧路、根室の4振興局管内で、広大な区域内には、特定防衛施設2施設（然別演習場及び矢臼別演習場）をはじめ重要な防衛施設が所在しています。

帯広支局では、自衛隊が任務遂行するための基盤となる施設の建設、国有財産の取得や管理、それらに付随する様々な業務に、支局長以下29名で日々懸命に取り組んでいます。

宿舎竣工写真（令和3年3月完成）

災害発生時の安定的な即応体勢を確保するため、駐屯地近傍に新宿舎を建設しました。



周辺財産の牧草地管理

すっかりお馴染みとなりましたが、周辺財産に牧草が植えられている風景も支局管内ならではの風景です。



II 新規採用者 初任者研修

北海道防衛局では、令和4年度の新規採用者等16名を対象とする初任者研修を前段(4月20日～22日)、後段(5月9日～11日)合わせて6日間にわたり実施しました。

<研修1日目、2日目>

開講式に続いて各部課等の業務、自衛隊基礎講座、防衛本省からの動画配信による各種講義などを受講するとともに、局長からの講話を受講しました。

石倉局長の講話では、局長の指針、有用な職員、自分の存在意義、繰り返すことの大切さなどのほか、2006年の局長自身のイラク復興支援参加の所感にも。講話の最後は、Boys & Ladies Be Ambitious! とエールが送られ締めくくられました。新たな扉を開けた研修生のヒントになったのではと期待しています。



<研修3日目 空自・千歳基地>

第2航空団の支援を受け、基地の概況、女性自衛官の生活勤務環境、宿舍、装備品の現状について詳しい説明を受けました。

引き続き、救難隊の主要装備U-125A UH-60Jの説明があり、実際に隊員がロープを使用して訓練する場面を見学して隊員の練度の高さに研修者からは盛大な拍手が送られました。後日談ですが、千歳救難隊はこの日の午後以降、知床の遊覧船沈没事故に関連して現地に派遣され、懸命な災害派遣活動を実施しました。



第2作業隊研修では、今冬、千歳地域を襲った記録的な豪雪に対しても、スクランブル態勢を常時保持する千歳基地においては、作業隊がフル活動して、航空機の24時間離発着を可能としていたことを知りました。

空自では、とかく航空機ばかりに目が行きがちですが、作業隊をはじめその他多くの隊員の努力やチームとしての一致団結した業務があってこそ、日本の空が護られていることを認識できました。



<研修3日目 陸自・北千歳駐屯地>

第71戦車連隊の支援を受けて、駐屯地の概況説明を受け、隊員が生活している隊舎等を見学しました。

また、10式戦車や90式戦車ほか連隊が保有する主要装備品について隊員から説明を受けるとともに、交代で90式戦車に体験搭乗し、戦車の機動力など大迫力に圧倒されました。

さらに洗車場、保管庫、モータープール、整備工場などを見学し、隊員が整齊と訓練や整備を実施する姿を目の当たりにし、身近な存在として実態を認識することができました。





<研修4日目 陸自・真駒内駐屯地>

第18普通科連隊の支援を受け、自衛隊員の基礎的動作などを体得しました。自衛隊の迷彩服、迷彩帽、半長靴をお借りし、スーツ姿から自衛官の戦闘スタイルへと変身しました。

自衛隊体操では、最初は見よう見まねで、ぎこちなかった動きも数回後には概ね体操としての動きができるまでになりました。



爽やかな初夏の下、午後は約10kgの背嚢を背って駐屯地内を2周、距離10kmを全員が完歩しました。

防衛局では日頃デスクワークが多い仕事ですが、同期とともに汗を流し、みんなで目標を達成するなど、同期の絆や信頼を醸成することができた一日となりました。

<研修5日目 海自・余市防備隊、陸自・倶知安駐屯地>

海自艦艇基地で最北に位置する余市防備隊では、同隊の概況説明を受けた後、海自艦艇の中で最速を誇るミサイル艇「わかたか」を見学し、機能や性能について詳しい説明を受け、北方の海を警備する勤務の大変さを理解しました。



午後は、陸自・倶知安駐屯地業務隊の支援を受け、ニセコトレーニングセンターに移動し、豪雪地域における冬季の訓練施設、温泉設備等を見学。高嶺演習場では春季演習場整備として外柵を整備している隊員の状況などを確認後、倶知安駐屯地の概況説明を受けました。



<研修6日目 陸自・幌別駐屯地、同・白老弾薬支処>

研修の最終日は、幌別にある第13施設群を研修し、普段あまり目にする事のない主要装備の94式水際地雷敷設装置等を見学することができました。



研修の締めくくりは白老の弾薬支処でした。陸自の兵站組織などについて概況説明を受けた後、広大な敷地のため熊が出没するなど警備の大変さも感じながら、駐屯地内にある火薬庫をはじめとする施設や弾薬業務としての整備、回収、処分要領などについて理解を深め、弾薬に係わる仕事の重要性を認識しました。

<研修を終えて>

部隊研修の実施に当たり、各部隊との事前の支援調整を行い、部隊研修に同行した北海道防衛局 古越防衛補佐官（1陸佐）コメント

「前段を含め6日間にわたる研修を通じ多くのことを学ぶことができたが、今回得たことを今後は実業務の中で生かし、仕事することで、今回の研修でお世話になったすべての部隊、関係者の皆様に恩返ししていきたいと思っています。」

北海道防衛局の新規採用者研修の様子は、当局の公式ツイッターでも発信しています。是非ともご覧下さい。



きずな 「絆」



名寄市と 名寄駐屯地の紹介



名寄市

〒 096-8686

名寄市大通南1丁目1番地

電話 01654-3-2111(交換)

<http://www.city.nayoro.lg.jp/>

名寄市は、北北海道の中核都市で、北の防衛拠点である日本最北の陸上自衛隊名寄駐屯地が所在しているほか、日本最北の公立大学である名寄市立大学があります。

農業を基幹産業とし、中でも、もち米は生産量・作付面積ともに日本一を誇り、伊勢の名物「赤福」をはじめ、様々な有名商品に使われています。

国内でもトップクラスの天体観測ができる「なよろ市立天文台 きたすばる」では、北海道大学の協力の下、様々な研究や観望会が行われています。また、2019年には産官民学19団体により「Nスポーツコミッション」を設立し、スポーツによる地域づくりに取り組んでいます。



北海道を代表する食文化「ジンギスカン」のうち羊肉をタレに漬け込んで食する地域のなかでも、名寄で販売されているジンギスカンはタレの割合が多くなっています。

名寄では、このジンギスカンをタレごと鍋に入れて、お好みの野菜やうどん等の具材とともに豪快に煮込んで食べます。

この名寄独自に進化した食文化を「なよろ煮込みジンギスカン」と命名して「名寄」のPRと次代への継承を目指しており、令和4年3月には文化庁で「100年フード」に認定されています。

市内飲食店で提供しているほか、インターネット等でも購入できますので、是非お召し上がりください。





訓練展示



装備品展示



(先頭車両に乗車)
加藤 剛士 市長



防災訓練



防災訓練

名寄市に所在する陸上自衛隊名寄駐屯地の各部隊・隊員の皆様には、我が国の平和と独立を守っていただくとともに、本市の防災訓練への参加や防災対策の推進等、安全・安心なまちづくりに多大なご尽力いただいております。

また、地域の各種イベントや町内会活動等にもお力添えを賜り、市民にとって身近な存在となっております。

名寄駐屯地

名寄駐屯地は、北海道北部、雪質日本一の名寄市に所在し、国内第4位の長大河川天塩川と名寄川の合流点に位置する我が国最北の駐屯地であり、北の国境を守る第一線の精鋭部隊として昭和28年5月に第3連隊を基幹として開庁されました。

現在は、14個の部隊が集う駐屯地として威容と精強さを誇り、「明朗澆刺」「不撓不屈」の隊風の下、最新鋭の16式機動戦闘車を装備した第3即応機動連隊をはじめ、ホークを装備する第4高射特科群などの部隊が駐屯しています。

駐屯地は日頃より、「活力のある健全で信頼される駐屯地」を掲げ宗谷振興局、士別市以北の上川振興局3市11町2村の地域と連携しています。



16式機動戦闘車

令和4年度 自衛官等採用案内

種目	応募資格	受付期間	試験日
一般曹候補生	18歳以上 33歳未満の者	7月1日～9月6日	1次：9月15日～18日 2次：10月8日～23日 ※いずれか1日を指定されます 試験日は各地方協力本部で異なりますので、最寄りの地方協力本部にご確認ください。
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満の者	年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。
航空学生	海 18歳以上 23歳未満の者 空 18歳以上 21歳未満の者 (海空いずれも高卒者(見込含)又は高専3年次修了者(見込含))	7月1日～9月8日	1次：9月19日 2次：10月15日～20日 3次：(海) 11月18日～12月14日 (空) 11月12日～12月15日
防衛大学校学生 (一般)	18歳以上 21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)	7月1日～10月26日	1次：11月5日・6日 2次：12月6日～10日
防衛医科大学校 医学科学生	18歳以上 21歳未満の者 高卒者(見込含)又は高専 3年次修了者(見込含)	7月1日～10月12日	1次：10月22日 2次：12月14日～16日
防衛医科大学校 看護学科学生 (自衛官候補看護学生)		7月1日～10月5日	1次：10月15日 2次：11月26日・27日
陸上自衛隊 高等工科学校生徒 (男子のみ)	推薦 中卒(見込含) 17歳未満 で成績優秀かつ生徒会活動 等の実績を修め、学校 長が推薦できる者	10月1日～12月2日	令和5年1月5日～7日 ※いずれか1日を指定されます
	一般 中卒(見込含) 17歳未満 の者	10月1日～ 令和5年1月6日	1次：令和5年1月14日・15日 2次：令和5年1月26日～29日 ※いずれか1日を指定されます



お問合せは、お近くの自衛隊地方協力本部まで！



各地本公式キャラクター



帯広地本「帯広地本トリオ」



札幌地本「モコ」



旭川地本「桜子」



函館地本「はこっち」

ネットで、簡単に
応募できるっち！

自衛隊 ネット応募

検索

地本公式 SNS アカウント



@函館地方協力本部
@sapporoPCO
@asahikawa.tihon
@obihiroPCO



@SDFhakotti
@sapporo_PC0
@asahikawa_PC0
@hp1obihiropco